

エイズを忘れていませんか

エイズ（AIDS）は、ヒト免疫不全ウイルス（以下、HIV）により引き起こされる感染症で、日本語では後天性免疫不全症候群といっています。

HIVに感染すると、大多数の人が無症状のまま数年～十数年経過します。この状態を無症状期といっています。この間、HIVは、病原体などの侵入から体を守る働き（免疫）をしているリンパ球などの中に入りつぎつぎに破壊していきます。やがて体の免疫機能が働かなくなり、健康時にはかからないいろいろな病気にかかってしまいます。この状態になった人をエイズ患者（以下、患者）といい、発症する前の状態の人をHIV感染者（以下、感染者）と呼んでいます。エイズは患者の命をも奪うことがある恐ろしい病気です。

HIVはどのように感染するのでしょうか？感染者や患者の血液、精液、膣分泌液中にはHIVが最も多く存在しますのでこれらが感染源となります。主な感染経路は、異性間・同性間の性行為による感染、麻薬などの注射器の共用等の血液媒介感染、感染した母親から生まれてくる子供への母子感染などです。この中で最も多いのは、異性間の性行為によるものです。エイズは誰でもうつる可能性のある病気なのですが、感染経路が限られていますので、エイズについて正しい知識を身につけ、予防に心がければ必要以上

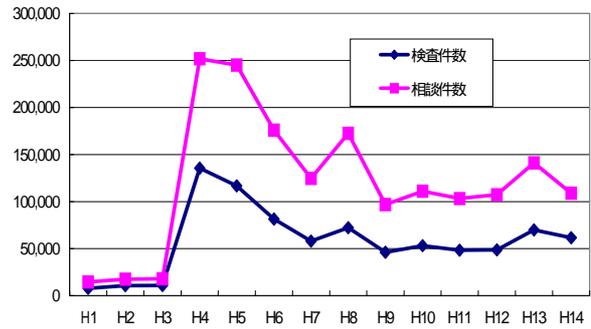


図1. 検査・相談件数 (全国)

に心配することはありません。

我が国では昭和59年からエイズの発生動向調査を行っています。山梨県では、平成2年に感染者がはじめて報告されました。それ以降、平成15年3月末までに64名の感染者と、27名の患者の届出（報告）がされています。これは全国の感染者1.2%、全国の患者の1.0%にあたります。近年、全国の保健所等の検査・相談件数（図1）は横ばいですが、感染者・患者の届出数は増加傾向にあります（図2）。

無症状期には感染に気が付かない人がほとんどです。しかしこの状態でも血液、精液、膣分泌液にはHIVが存在し、他の人に感染させる能力があります。心配なことがあれば保健所で相談・検査を受けましょう。なお、心配なことがあった日から、2～3か月以上経ってからでないと正確な検査結果が得られません。（微生物部）

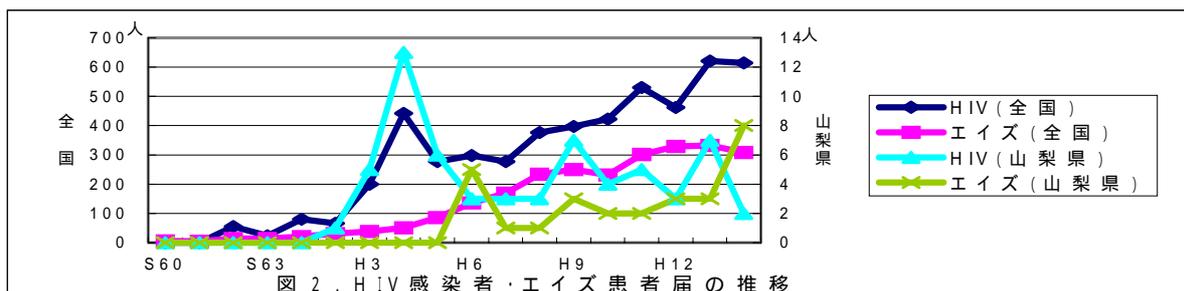


図2. HIV感染者・エイズ患者届の推移